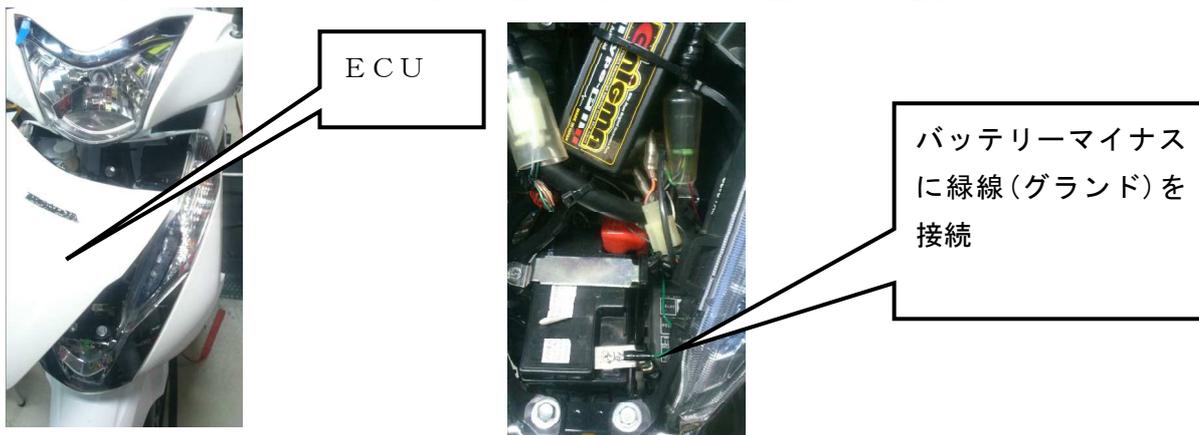


ENIGMAとLEAD125の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なLEAD125の整備知識が必要です。



とノーマル車両のフロント回りの外装を取り外すと右側前方タイヤの裏側あたりにECUがあります。ECUはそのまま車両前方側についている33pinコネクターを外します。グランドをシャーシアースからとれば、車両後方側についているコネクターは外す必要はありません。

コネクターを外し配線を加工してENIGMAを割り込みさせて下さい。

ENIGMAは近くに取り付けてください。RTFタイプの場合は、外したコネクターに挟みこみ、グランドを接続するだけです。

コネクター側の配線にENIGMA配線を一部を除き**割り込み接続します。**

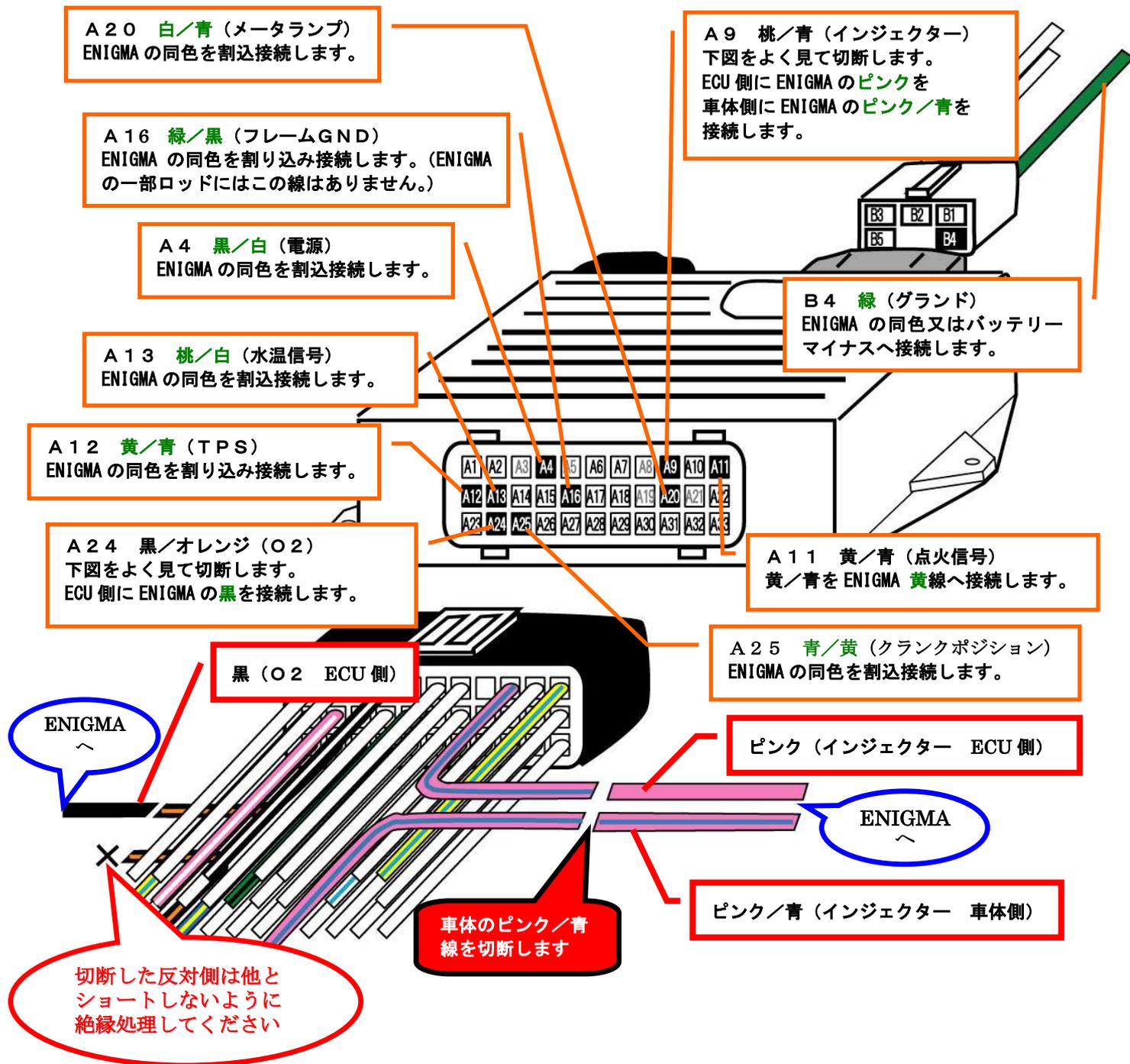
(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップを使用しないで下さい。接続トラブルが多くENIGMAの動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的にENIGMAから出ている配線色と接続する車両の配線色は一部を除き同じです。次の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMAから接続する配線は全部で11本です。
特に下記の配線接続には注意が必要です。

- ※ ENIGMAの緑線(GND)はECUの33ピンコネクタの反対側についている、5ピンコネクタB4番端子(緑)線に接続するか、バッテリーのマイナス端子へ確実に接続してください。
- ※ ECUのA9番端子(ピンク/青)線を切断して、ENIGMAからの配線で、バイク車体側にピンク/青線を接続ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUのA11番端子(黄/青)線はENIGMAの黄線を割り込み接続。ECUのA12番端子(黄/青)線はENIGMAの黄/青線を割り込み接続。**同じ色の配線がECUから出ていますので、特に注意して下さい。**
- ※ O2センサーへ接続するECUのA24番端子(黒/オレンジ)線は、切断してECU側とENIGMA(黒)線を接続してください。切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。O2リプレイサー機能を使用しない場合は、バイクの配線を切断せず、ENIGMAから出ている黒線を絶縁処理してください。
- ※ ENIGMAからボディアース(フレームGND)へ接続する緑/黒線がある場合、この線をバッテリーのマイナス側かバイクのフレームに直接配線するか、ECUのA16番端子(緑/黒線)へ接続してください。ENIGMAの一部ロッドにはこの線はありません。
- ※ ENIGMAから出ている配線の根元からのENIGMA内部へ水が入るのを防止するため、ENIGMAを出来るだけ立てて設置し配線側を下にすることを勧めします。

LEAD125用ENIGMAは専用開発しているため、他のバイクには使用できません。ご注意ください。



■ ECU端子で繋ぐのはA4、A9、A11、A12、A13、A16、A20、A24、A25、B4の10箇所です。上図でご確認下さい。

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMAはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでENIGMA操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ ENIGMA専用ソフトは当社ホームページより無料にてダウンロードできます

<http://www.dilts-japan.com>